

村民向けワークショップ実施計画（案）について

1 開催目的

策定を進めている「東成瀬村地域公共交通計画」における施策・将来像仮説の検証を参加者に体験してもらうことで、施策案の実現可能性やその具体的な手法などについて検討、整理、共有を行うことを目的とする。

2 開催日程

令和 7 年 11 月下旬から令和 7 年 12 月上旬のうちの平日の 1.5 時間

※最終的な日時は講師との調整を経て決定

3 テーマ（案）

「みんなで考えてみよう！新たな地域公共交通のこと」

4 参加者

村民（最大 100 名程度）

5 想定プログラム（案）

項目	時間	内容
開会	10 分	・開会挨拶 ・開催主旨の説明 ・本日の目的及び進め方について
説明	15 分	・事務局から、本村の地域公共交通にかかるこれまでの取組の説明、現時点での「あるべき姿」、「施策案」の提示
意見交換①	30 分	・施策案のうち「新モビリティサービス案」を提示 ・グループワークにて「新モビリティサービス」の導入可能性（料金、利用方法、運行形態等）を検討 ・各グループの内容を全体で共有
意見交換②	30 分	・施策案における「停留所を含むハブ（拠点）の機能」について提示 ・ハブに必要な機能（待合、地域交流等）を検討 ・各グループの内容を全体で共有
閉会	5 分	・講師からのコメント ・アンケートの記入

6 ワークショップで得られる成果

- ・ 施策案における「ライドシェア」や「民間買い物支援バス」におけるルート、停留所場所、ハブ機能の具体化。
- ・ 新たなモビリティサービスに対する、村民の意識と考え方の共有。

7 アドバイザー

宮代 陽之 氏

(株式会社 国際経済研究所 研究部 非常勤フェロー)

◆宮代氏における、これまでの本村地域公共交通事業への参画

令和5年度

令和6年1月19日「地域公共交通に関する講義」

- ・ 移動の目的となる生活サービスや移動の手段となる交通サービスの現状、及びそこから導き出される課題感の共有とこれに対する具体的な方策例の共有。

令和6年1月24日「小中向け地域交通ワークショップ」

- ・ 村に必要な生活サービスと適切なアクセス方法についての議論。

令和6年1月29日「全体向け地域交通ワークショップ」

- ・ 前述の小中学生向けワークショップの村民を対象にした議論。

令和6年度

令和6年9月25日「東成瀬の未来の交通と移動について考える会①」

- ・ 令和5年度のワークショップを受けての法定協議会必要性の共有、簡易実証に向けた施策の議論。

令和6年10月21日「東成瀬の未来の交通と移動について考える会②」

- ・ 国、地方自治体における法定協議会の設立目的や運営のポイントの共有、他自治体での法定協議会事例から見える協議会の方向性について議論。

令和6年11月18日「東成瀬の未来の交通と移動について考える会③」

- ・ 簡易実証実験にて得られたデータを活用した施策検討及び協議会のあるべき姿に対する議論。